

# だっこするよ

平成29年2月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



## みんな一緒に 大きくなる！！

大寒を迎え、一年で寒い時期「おおきくなったねの会」の練習が本格的に始まりました。4月から培ってきた「こどもたちと保育者とのつながり」が花を開かせるときです。

保護者の皆様には、朝の集合時間にご協力をいただき有難うございます。

スローガンは「かがやけ！みんながオンリーワン☆」です。一人ひとりの生命の大切さ、集団活動であっても個々の存在こそが人として大切にされ、自信を持って輝いて欲しい…と職員みんなで考えました。

乳児組は、大人の後ろから舞台に出るだけでも十分素晴らしいです。伸び伸びといつものように、魂を自由に動かして、あなたの丸ごとの生命をキラキラと表現しています。一番大きな2歳児さんは、クラスでのごっこ遊びの続きを表現してくれます。本番の様子は大勢の観客に戸惑うかもしれませんが、それでいいのです。誰もが毎日新しい自分に成長しているので、私たちもワクワクです。

幼児組は、毎日の生活を大切にしながらも、普段とは違う練習時間が増えてきました。こどもたちにとっては行事が負担になっていないだろうか？と目を光らせていますが、初めは戸惑い、面倒くさいと思っても段々とこどもたちから「もっとやりたい！」「今日は体育館行かないの？」と言葉が出て、クラス意識が芽生えています。その素直な意欲は、真っ直ぐに「一番、格好いいところを大好きなママやパパに見てもらいたい。」そして、担任たちも「一番素敵な姿を本番で表現させてあげたい。」と相思相愛のような温かい空気が流れてます。担任への信頼の糸？見えるように、集中して担任へ視線が集まります。

自分も一員となり、みんなで頑張る姿は、誇らしいと感じ、益々クラスが好きになっていくのでしょう。近くで見ていると胸が熱くなります。担任たちは、素直なこどもたちと一生懸命向き合い、保育者冥利ですね。保育者も実はこどもたちから成長させてもらっています。

年長組は、最後の発表会になります。5歳児の保育日誌より…「巨大絵本の仕上げを楽しそうに行うこどもたち、体育館の練習を経験したためか意識が高まりチームごとに真剣に取り組んでいた。発表会に向けて少しずつ気持ちが高まり絵を仕上げ、合奏の練習をする。活動を意欲的に取り組む。自分の役割が終わると友だちのグループのものを手伝ったりして協力する姿が見られた。」…こどもたちの伸びやかさや力強さ、その成長が伝わります。

人生の土台教育は、幼い生命へ、目をかけ、耳を傾け、手をかけて、愛されることが第一！！大事にされているとこども自身に伝わっていることが教育のスタートだと思います。どんな自分も大好きと自己肯定できれば、何事にも挑戦して自分に育ちます。自他ともに尊重し合い、喧嘩をしても平和に解決していく、他者への共感力を持った人間になるのではないのでしょうか。多様性を受けとめ合える社会を築くことが私たちの未来を築くことだとつくづく考えます。そのためには、どんなときも、こどもたちを保護者と園と地域で、手を取り合い、信頼の輪の中で育てていきましょう。当日は、発表時の優先席を用意しています。「ここで見ているよ～」という目を合わせて、肉眼でもたっぷり見守って下さいね。いつも保育へのご理解とご協力に感謝申し上げます。写真はほし組 節分の鬼作り…ユニークな鬼が揃い、個性が爆発しています。